

山形県感染症発生情報

第5週(平成22年2月1日～平成22年2月7日)

疾患名	報告数	増減	特記事項
(インフルエンザ定点 48)			
インフルエンザ	122	▼	多発中
(小児科定点 30)			
RSウイルス感染症	19	▽	
咽頭結膜熱	8	△	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	120	▽	多発中
感染性胃腸炎	537	▲	多発中
水痘	37		
手足口病	22		
伝染性紅斑	2	▽	
突発性発しん	16	▼	
百日咳	0		
ヘルパンギーナ	2	△	
流行性耳下腺炎	45	▽	
(眼科定点 8)			
急性出血性結膜炎	0		
流行性角結膜炎	9	▲	
(基幹定点 10)			
クラミジア肺炎	0		
細菌性髄膜炎	0		
マイコプラズマ肺炎	0		
無菌性髄膜炎	3	▲	

(▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少、多発中:報告数50名以上)

疾患名	報告数			累積報告数 (*平成22年1月～)
	第5週	1週前	2週前	
2類感染症				
結核	8	2	1	15
3類感染症				
コレラ	0	0	0	0
細菌性赤痢	0	0	0	0
腸管出血性大腸菌感染症	1	0	0	1
パラチフス	0	0	0	0
4.5類感染症				
E型肝炎	0	0	0	0
A型肝炎	0	0	0	0
オウム病	0	0	0	0
つつが虫病	0	0	0	0
ライム病	0	0	0	0
レジオネラ症	0	0	0	1
アメーバ赤痢	0	0	1	1
ウイルス性肝炎	0	0	0	0
急性脳炎	0	0	0	0
クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0
後天性免疫不全症候群	0	0	0	0
ジアルジア症	0	0	0	0
髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0
梅毒	0	0	0	0
破傷風	0	0	0	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	1	1
風しん	0	0	0	0
麻しん	0	0	0	0

1 本県のインフルエンザ定点当たり報告数は2.54人で、3週連続で減少した。

衛生研究所の分離結果によれば、型別は2月2日現在、新型(A/H1N1)のみ検出されており、季節性は検出されていない。

2 感染性胃腸炎が、5週連続で増加しており、警戒が必要である。特に、鶴岡市、山形市で定点当たり報告数が多い(鶴岡市:29.5人、山形市:28.5人)。

患者の吐物や便の処理には十分注意するとともに、手洗いの徹底が重要。

3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が、庄内地区で増加している。特に、米沢市、鶴岡市で定点当たり報告数が多い(米沢市:13.0人、鶴岡市:11.0人)。

4 無菌性髄膜炎の患者が、村山地区から1名、庄内地区から2名報告された(いずれも病原体不明)。

5 結核の患者が、村山地区から4名(東南村山2名、西村山2名)、最上地区から2名、置賜地区から1名(東南置賜)、無症状病原体保有者が村山地区から1名(北村山)、計8名報告された。

6 腸管出血性大腸菌の無症状病原体保有者が、村山地区から1名(O145 VT2)報告された。

7 第2週分として、レジオネラ症患者が村山地区から1名追加報告された。また、第3週に報告された麻しん患者1名が、削除訂正された。

(2月9日現在 山形県衛生研究所)